

Pyro2018 : 22nd International Symposium on Analytical and Applied Pyrolysis 第 22 回分析的小よび応用熱分解に関する国際シンポジウム

1. 主催 「第 22 回分析的小よび応用熱分解に関する国際シンポジウム」組織委員会
2. 開催時期 平成 30 年(2018 年)6 月 3 日(日)~6 月 8 日(金)
3. 会場 京都大学 吉田キャンパス (京都市左京区吉田本町)
4. 会議の性格と目的

本国際シンポジウムは、分析化学、資源・エネルギー学および材料科学などに代表される科学技術の領域で活用されている、分析的小よび応用的な熱分解手法 (Analytical and Applied Pyrolysis) の到達点と将来に向けた発展方向を明らかにするために、1965 年にフランスで初めて開催され、その後近年はほぼ隔年で主に欧米の各地で開催されてきた。欧米以外で開催されるのは、1994 年に名古屋大学で開催されて以来、今回が 2 度目となる。

本シンポジウムでは、その学際的な性格を反映して、上記の諸分野はもとより、高分子化学、生化学、地質学、環境科学、法化学、さらには文化財保存科学にまで及ぶ広範な学術領域の参加者が、大学・公的機関・民間企業を問わず一堂に会して、学際的な議論・意見交換が繰り広げられる。これらの関連する諸分野では現実の問題が山積しており、それだけに、先進的な研究活動が国際的にも活発に繰り広げられている。我が国において、こうした時期に本シンポジウムを開催することは、学術交流・国際貢献の観点から大きな意義がある。

5. 会議の概要

1) 参加登録費

事前登録	一般 45,000 円	学生 25,000 円	同伴者 15,000 円
期限後 (当日) 登録	一般 60,000 円	学生 30,000 円	同伴者 20,000 円

2) 重要日程

発表申込 (Abstract 提出) 期限	2018 年 2 月 1 日
発表受理通知	2018 年 2 月中
事前参加登録期限	2018 年 3 月 15 日
発表者参加登録期限	2018 年 3 月 30 日

3) 会議の主題

1. 新しい熱分解分析技術開発
2. 熱分解反応に関する基礎研究
3. 高分子材料の分析・キャラクタリゼーション
4. 法科学・裁判科学への応用
5. 資源循環およびエネルギー関連分野への応用
6. バイオ・生化学関連分野への応用
7. 土壌・腐植物質など地質学・地球科学分野への応用
8. 環境科学・地球保全分野への応用
9. 文化財保存修復分野への応用
10. その他

4) 参加予定者数 200 名(国内:150 名、国外:50 名)

5) 問合先 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町名古屋工業大学 大谷 肇 (組織委員長)

E-mail: pyro2018@nitech.ac.jp Tel/Fax 052-735-7911

Web サイト: <http://cec.ach.nitech.ac.jp/pyro2018/>